いしずえ

恵那北中学校　学校だより　第260号
発行：令和5年1月26日（木）

◇「いしずえ」の名称は，校歌の一節「学ぶことそれは礎」から生涯学習の基礎を学ぶ生徒達の心と体の成長を願ってつけました。
◇NOは創刊号以来の通番でつけております。

学校評価アンケートの結果より

校長　可知 浩幸

早いもので、この前正月を迎えたかと思ったら、もう2月の声が聞こえてきます。初任の頃、先輩教師から「行く1月　逃げる2月　去る3月」、3学期はあっという間に過ぎ去るので、ぼやぼやしていると、今年度の締めくくりも来年度の準備もできずに大変なことになると教えられました。最近では、1年があっという間に過ぎ去る（感じ）のでもっと大変ですが、今年度もまとめの時期を迎えました。

12月に回答していただいた「保護者アンケート」と「生徒アンケート」の結果が集計できましたので要約してお伝えします。貴重なご意見をありがとうございました。

【学校評価　保護者アンケート】

○「思う・どちらかと言うと思う」が90％を超えた項目

1　お子さんは、感染予防を意識し、検温や消毒等自主的に行っていますか…94％
2　学校は、感染症予防対策を十分に行っていると感じられますか…96％
3　学校からの情報発信（学校報、通信、HP、メール）は十分なされていますか…92％
6　お子さんは宿泊を伴う研修の変更等について納得し、研修を楽しむことができましたか…97％
7　カヌー、ボルダリング体験等は、地域のよさを知り、地域に愛着をもつ機会となりましたか…94％
8　学校は、いじめや暴力のないが学校づくりに取り組んでいますか…93％
9　学校は、生徒や保護者からの相談に対し、誠実に対応していますか…96％
10　SNSやゲーム、TVなどの利用について、家庭で約束を決めていますか…100％

●「思う・どちらかと言うと思う」が80％に満たなかった項目

4　お子さんは、規則正しい生活をしていますか…69％
5　お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいますか…78％

☆いただいたご意見

「タブレットでの自主学習は生徒のためにならないと実感しています。（中略）出来ることなら自宅に持ち帰ることをやめてほしいです」

→　恵那北中学校では、平成27年度に「スマホ等は中学校生活に必要ありません」運動を継続して展開することで、ネット等のいじめやトラブルが0になり、家庭での学習時間が以前と比べ1時間以上増え、学力が向上したという大きな成果を上げました。しかし、令和2年度に、一人一台のタブレットが導入され、ものすごい勢いで小学1年生からICTを利活用した授業、家庭学習（キュビナ、GIFU Webラーニング等）に変化してきています。タブレット利活用の問題にとどまらず、これからの教育は、確実に「禁止」から「上手に使う」に変わりました。学校では、生徒がタブレットを使う中で、自分をコントロールし、結果に責任をもつことができるよう指導していきます。

「通学カバンによる子どもたちの肩こり、腰痛が深刻です。置き勉ができないのであれば何か対策を考えるべきです」

→　これまでに学校で保管する物を増やしてきましたが、それでも5科全ての授業がある日は相当な重さとなっているのが現状です。来年度、英語の教科書がデジタル教科書に変わる予定です。その他の教科も順次デジタル教科書に移行していく予定です。これを機に、来年度からは全ての教科書類を学校保管とし、生徒がタブレットを活用して上手に管理する方向で詳細を検討していきます。

【チャレンジ4アンケート（生徒アンケート）】

○「思う・どちらかと言うと思う」が98％を超えた項目

1　学校に行くのが楽しい…98．7
3　「もっとこうしたい、こうなりたい」という気持ちや目標をもって生活している…98．7％
4　目標をもって、最後までやり遂げてうれしかったことがある…98．7％
5　学級で話し合った活気あふれる授業の目指す姿を意識して授業を行っている…98．7％
13　仲間と話し合う時、仲間の話や意見を最後まで聞くことができる…100％
20　やっていいこと、いけないことを考えて判断して生活している…98．7％
21　仲間と共に高まる意識をもち、仲間のためになろうという気持ちをもって行動できている…98．7％

●「思う・どちらかと言うと思う」が60％に満たなかった項目

17　進んで読書をしている…53．9％
26　地域社会などでボランティア活動に参加したことがある…59．2％

☆来年度の北中生の課題

「自律協働」…自分で考え判断し行動するもととなる知識を得る読書活動の推進を「自律」、「同じ目的を共有し、連携・協力して働く力を養うボランティア活動の推進を「協働」という言葉にして、「自律協働」を目指す2023 年にしていきます。